コミュニティ・スクール太宰府市立太宰府西中学校

学校だより

樟蔭の丘から

第６号
令和８年８月２６日
文責：校長 石原 玉絵

夏休み、輝いた太宰府西中生

３８日間の長い夏休みが終わり、８月２５日から前期後半が始まりました。夏休み期間中、様々な場面で太宰府西中学校の生徒たちが活躍し、輝く姿を見ることができました。

一つは、地域で行われた夏祭りです。祭のテント建てや櫓（やぐら）の準備、出店の販売、放送やゲームの進行、ごみの分別、そして終了後の片付けまで、夏まつりの運営に太宰府西中生がたくさん関わり、大活躍していました。自治会長さんからも、「中学生が手伝ってくれてとても助かっている」とお褒めの言葉をいただきました。ボランティアに協力してくれた皆さん、ありがとうございました。

また、７月２８日（火）には、プラムカルコアにおいて太宰府市英語スピーチ大会「うめのみ杯」が開催され、本校からも５名の生徒が出場し、素晴らしいスピーチを披露してくれました。暗唱部門とスピーチ部門があり、どちらもジェスチャーを交え、抑揚や表情を工夫しながら見事なスピーチを披露してくれました。当日を迎えるまでに、緊張と闘いながらいくつものハードルを乗り越えたみなさん。この経験は、これから様々な場面で自分の自信となり糧となることでしょう。お疲れ様でした。






そして、８月６日（木）には、プラムカルコアにおいて、毎年恒例の太宰府市四中学校吹奏楽合同演奏会が行われました。第１部は各校演奏が披露され、太宰府西中学校は４番目に演奏しました。夏のコンクールで演奏した自由曲「乱世の神威　幸村」と、吹奏楽の定番曲「オーメンズ・オブ・ラブ」の２曲を演奏した太宰府西中。まったく違う雰囲気の曲を見事に演奏し分け、特に２曲目の「オーメンズ～」は全員サングラスをかけ、パフォーマンスも入れながら演奏することの楽しさを全身で表現していました。１年生は初ステージとなりましたが、立派にやり遂げました。とっても素敵なステージでした。

第２部は、この日を最後に引退する３年生合同ステージでした。さすが３年生の演奏だけあって、音量も表現力も豊かで、３年間の積み重ねを感じさせるすばらしい演奏でした。曲の合間に各校の部長から３年間支えてくれた保護者や仲間たち、そして指導してくださった先生方への感謝の気持ちが伝えられました。



中体連もそうですが、中学生という心身ともに成長著しい時期に、自分のやりたいことに全力で打ち込むこと、そして、困難を克服する経験を積むことは、その分野だけでなく、人間的にも大きく成長させるかけがえのない経験です。これからも、生徒の皆さんには部活動や習い事、学校行事などに積極的に取り組み、たくさんの経験を積んでほしいと思います。

太宰府西中ブロックコミュニティ・スクール夏季研修会

８月２１日、太宰府西小、水城西小、太宰府西中の３校の職員が集まり、太宰府西中ブロックコミュニティ・スクール夏季研修会が行われました。

太宰府西中ブロックでは、「活気あふれる地域づくりのために行動し、健やかに伸びる子どもの育成」を共育目標に掲げ、ブロック全体で挨拶や学習意欲の向上、感謝の気持ちを育てる取組を共通して行っています。この日は、主に、学習について小中で取り組んでいる情報を共有し、今後の教育活動に活かすことができることはないか協議しました。

学力向上のためには、教師の授業力向上はもちろんですが、家庭学習習慣や集中できる生活習慣づくりも重要です。今後も、様々な角度から子どもたちの健全育成について考え発信していきます。ご家庭でもご協力の程、よろしくお願いします。



小中で協議する様子